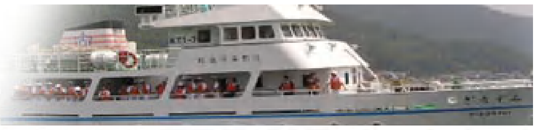
京都府立海洋高等学校



平成23年度　修学旅行　１日目

　10月3日（月）～7日（金）、2年生が修学旅行に参加しました。行先は北海道（標津町、知床、札幌）で、希望別体験学習に加えて、各学科・コースの特色を生かした体験実習を多く取り入れた内容になりました。

午前10時50分
　予定通り本校を6時30分に出発し、途中2回の休憩をはさんで中部国際空港に到着。搭乗手続きを行いました。

午後2時10分
　女満別空港に到着し、同行してくださる看護師の方やガイドの方々と合流しました。

午後3時
　東京農業大学オホーツクキャンパス（網走）にて、小林万里准教授より北方四島周辺における生態系の多様性について講義を受けました。また、本校の卒業生から大学生活での苦労や、本校で学んだことを大学でどのように生かしているか等、生徒からの質問に対して応えていただきました。

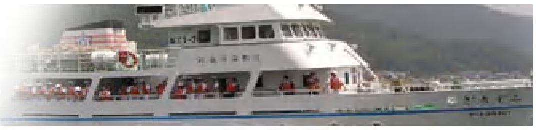
午後4時40分
　流氷科学館にて、オホーツク海に毎年現れる流氷はどのようにして形成されているのか、流氷はオホーツク海周辺の生態系にどのような影響を与えているのか学び、－16℃の世界を体験しました。
　また、この地に古来より生活してきたアイヌ民族の生活様式や文化についても学ぶことができました。

午後7時45分
　標津町にて、本日から2日間、本校を受け入れてくださる観光協会をはじめ、個別体験のガイドの方々、分宿の方々との対面式を行い、修学旅行委員の代表生徒が挨拶を行いました。

午後8時30分
　それぞれの宿舎に分かれて食事をいただいた後、翌日からの活動についてミーティングを行いました。

Copyright(C) 2010- Kyoto Prefectural Marine High School. All Rights Reserved.
京都府立海洋高等学校　〒626-0074　京都府宮津市字上司 1567-1
TEL0772-25-0331　FAX0772-25-0332
e-mail　kaiyou-hs@kyoto-be.ne.jp

京都府立海洋高等学校



平成23年度　修学旅行　2日目

2日目は、午前が学科・コース別体験実習、午後は希望別体験学習です。

【航海船舶コース】朝3時に起床し、標津港沖の定置網漁業で行うサケ漁の見学を行いました。

【海洋技術コース】羅臼町のルサ川でスキンダイビングによるサケの遡上を観察しました。

【海洋科学科・栽培環境コース】サーモン科学館において、サケの人工授精の体験学習を行いました。

【食品経済コース】標津町内の食品加工場において、サケの卵巣からイクラを取り出す加工を行いました。

サーモンフィッシング

渓流釣り

ネイチャーボート

野付半島散策

夕食は標津町上げての歓迎会を行っていただきました。

Copyright(C) 2010- Kyoto Prefectural Marine High School. All Rights Reserved.
京都府立海洋高等学校　〒626-0074　京都府宮津市字上司 1567-1
TEL0772-25-0331　FAX0772-25-0332
e-mail　kaiyou-hs@kyoto-be.ne.jp

平成23年度　修学旅行　3日目

3日目は世界自然遺産に登録された知床半島を通して自然と動植物、人間との共生の在り方について学び、北海道中央部の層雲峡を目指します。

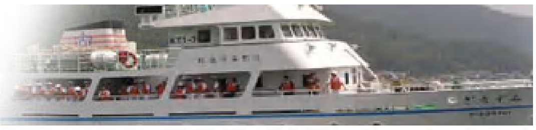
知床ネイチャーセンターに到着し、自然散策中の注意事項や双眼鏡の使い方について指導を受けました。

原生林コースではエゾシカによる食害で枯れてしまった樹木が風で倒されており、自然の厳しさを学んだほか、ヒグマの巣穴に入る体験もできました。

知床世界遺産センターでは、ビデオ視聴やパネル展示で知床の生態系、世界自然遺産登録によって生じた問題点から自然と人間との共生の在り方について学びました

層雲峡観光ホテルにでは、夕食後にクラスレクリエーションを行いました。

Copyright(C) 2010- Kyoto Prefectural Marine High School. All Rights Reserved.
京都府立海洋高等学校　〒626-0074　京都府宮津市字上司 1567-1
TEL0772-25-0331　FAX0772-25-0332
e-mail　kaiyou-hs@kyoto-be.ne.jp



平成23年度　修学旅行　4～5日目

4日目は旭川動物園で様々な動物の生態について学んだ後、小樽フェリーターミナルを目指します。

旭山動物園にて飼育員の方からエゾシカを飼育している檻の中でエゾシカに囲まれながら、生態や植物などに与えている被害について講義を受けました。

また、バックヤード見学を通じて、動物たちの餌の食べ残しや糞の状態などを常に観察することで健康状態を把握している飼育員の方々の仕事について理解を深めることができました。

講義を受けた後の施設見学では多くの動物を観察し、自然に近い状態で動物たちを展示する工夫やパネル展示の工夫について学ぶことができました。

海洋科学科の生徒は、北海道大学の低温科学研究所にて、海氷(流氷)やオホーツク海の豊かな漁場にどのような影響を与えているか講義を受けました。

低温科学研究所では、南極から持ち帰られた氷塊のサンプルを保管している－50℃の倉庫を見学させていただきました。

午後からは小樽市内で観光を行い、特産品や銘菓などの土産物の購入しました。夕食はジンギスカンをはじめ、北海道の海の幸、山の幸を堪能しました。

フェリーに乗船する前に北海道で行動を共にしてくださった看護師、バスの運転手、バスガイドの方々にお別れの挨拶を行い、フェリーに乗船しました。

5日目はフェリー内で「修学旅行のしおり」のレポートを完成させ、無事、舞鶴港に到着しました。

Copyright(C) 2010- Kyoto Prefectural Marine High School. All Rights Reserved.
京都府立海洋高等学校　〒626-0074　京都府宮津市字上司 1567-1
TEL0772-25-0331　FAX0772-25-0332
e-mail　kaiyou-hs@kyoto-be.ne.jp